



NOMURA

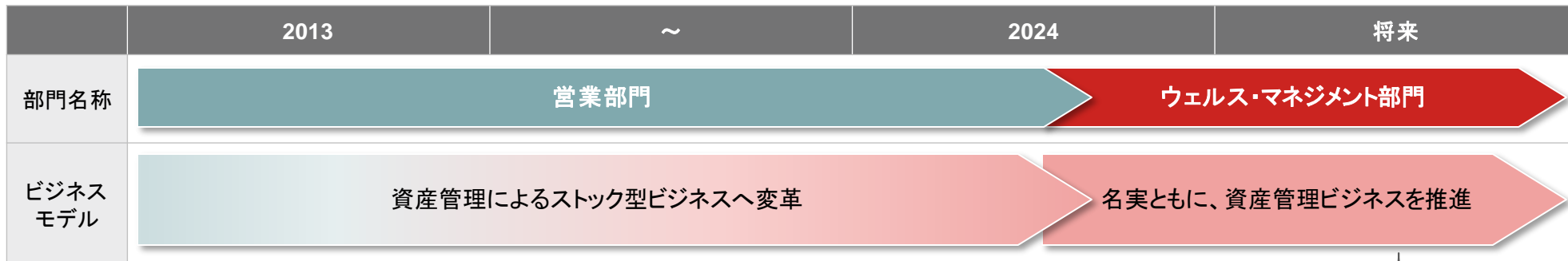
ウェルス・マネジメント部門

2024年9月26日

ウェルス・マネジメント部門長
杉山 剛

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets



「NOMURA WEALTH MANAGEMENT」の資産管理サービス

「資産管理」とは

- ファミリー全体のバランスシートをとらえ、金融資産を含めた資産管理を包括的に行う

「NOMURA WEALTH MANAGEMENT」

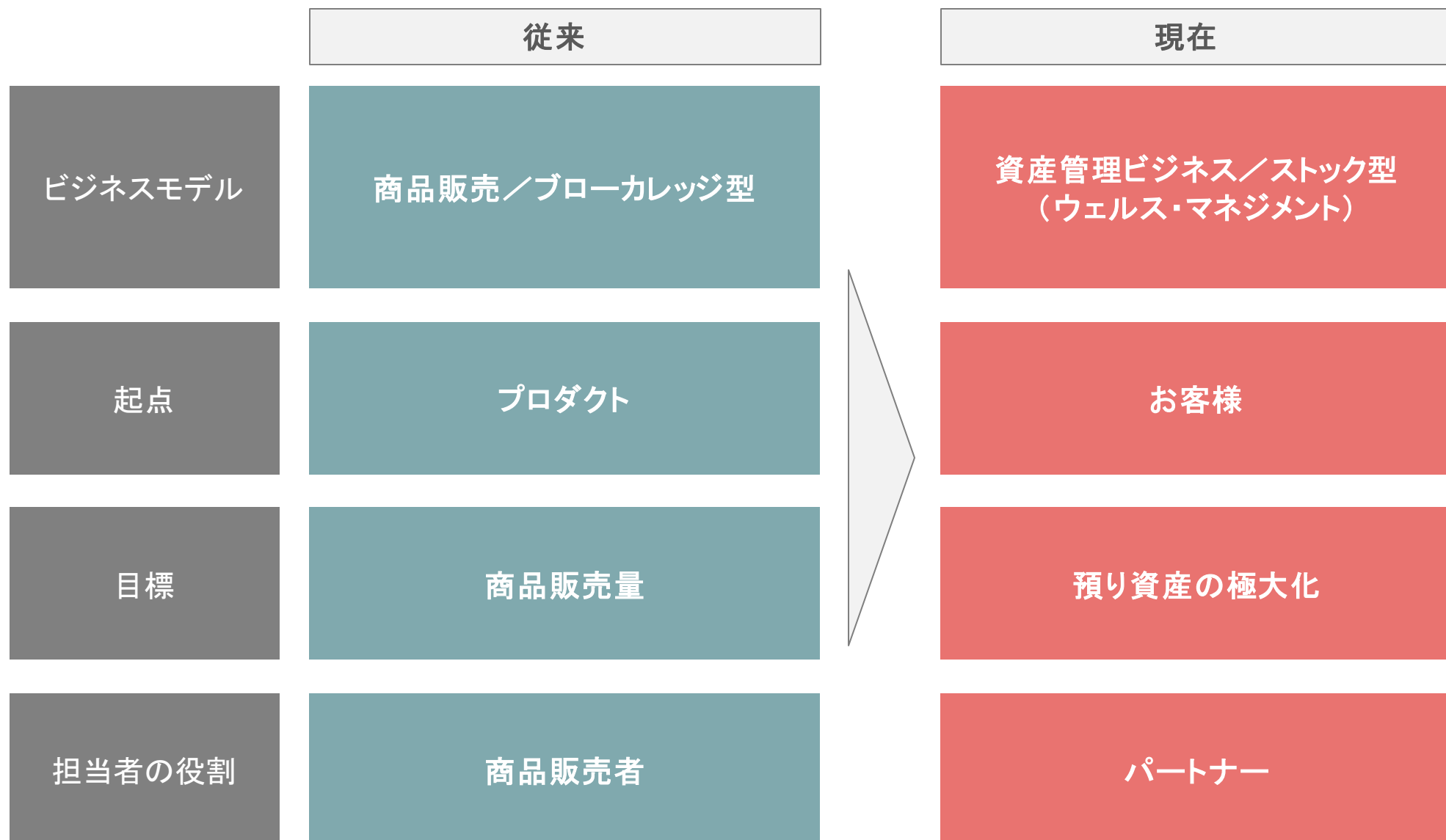
- 証券会社の枠に捉われず、資産運用を含む資産管理が必要なお客様のためにサービス提供する

お客様のバランスシート

金融資産	借入金等
不動産	相続税
自社株・出資持分	純資産
その他資産	

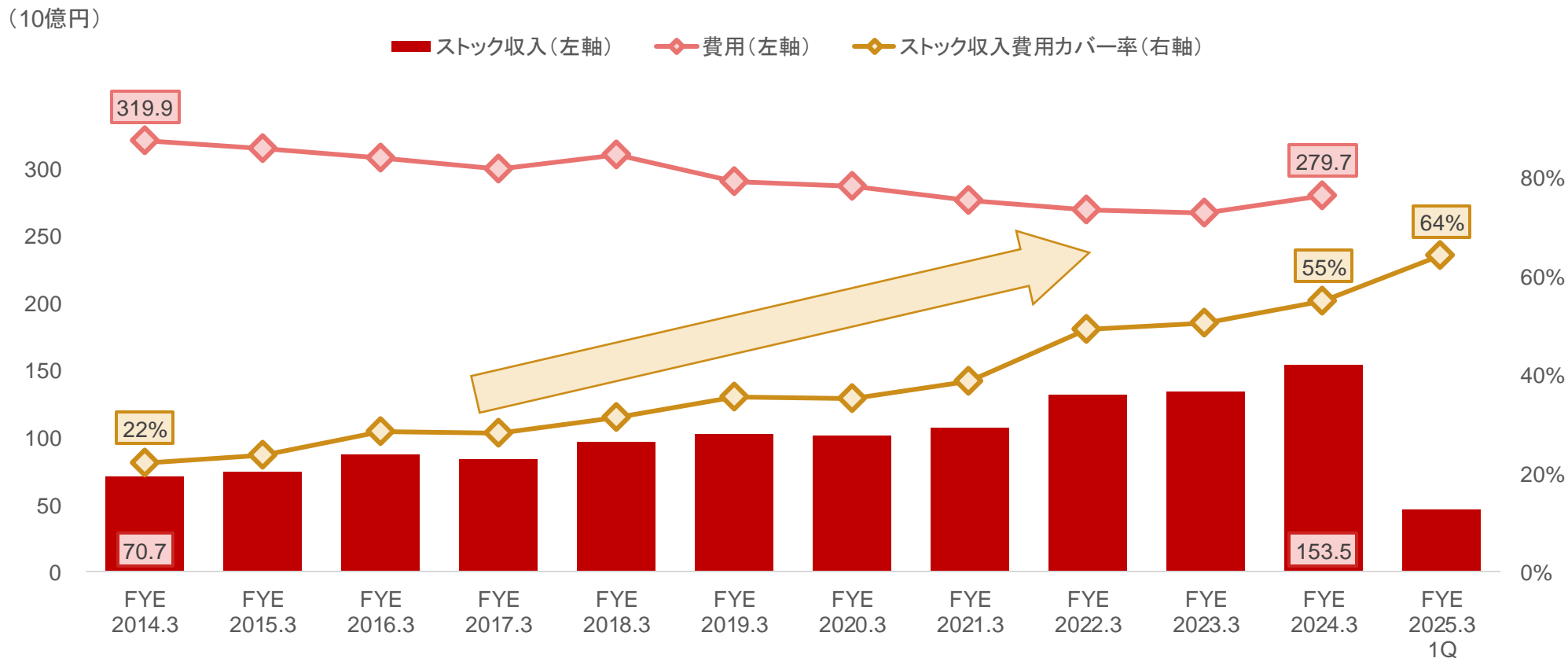


資産管理型ビジネスへの転換



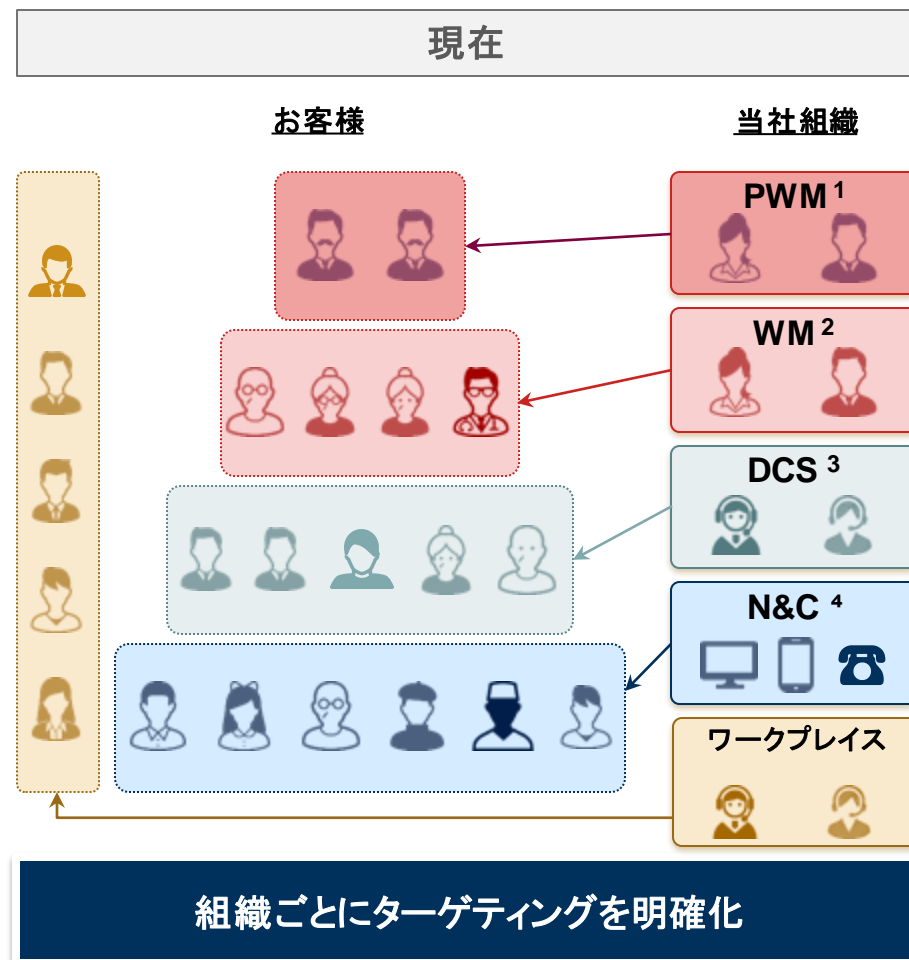
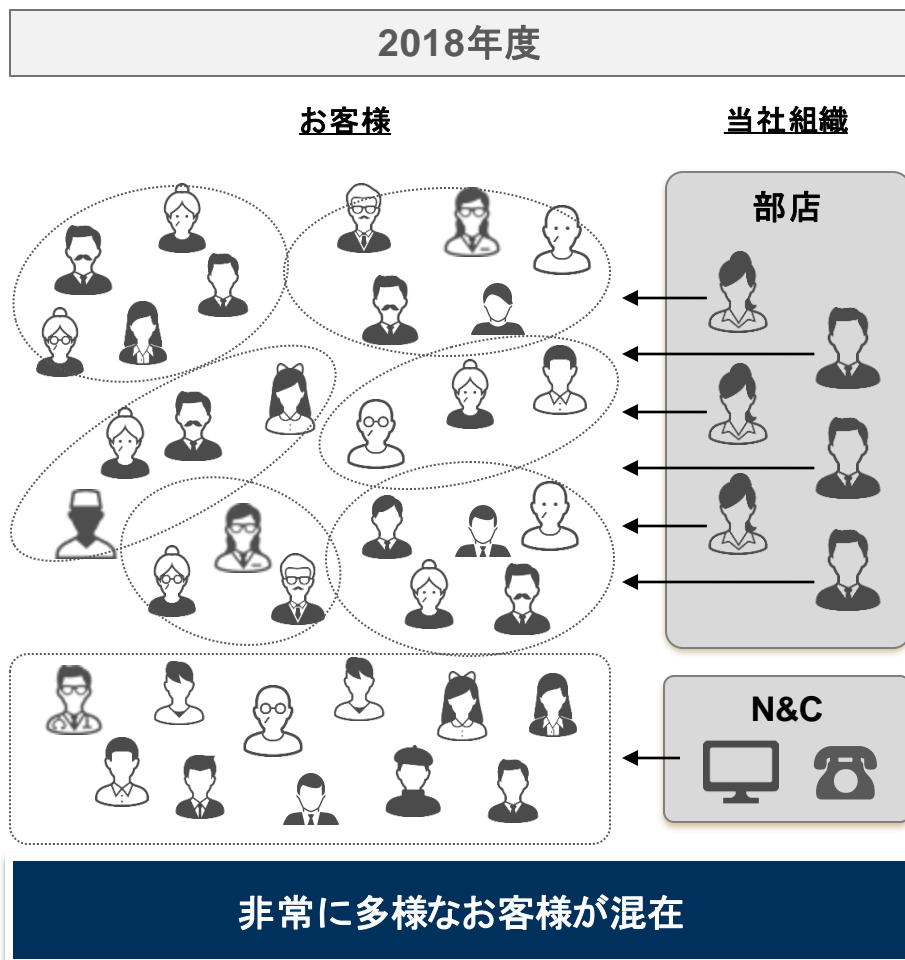
■ ビジネスモデルの変革には、現場の意識改革が不可欠。根気よくマインドセットを転換した結果、ストックビジネスの拡大も進展

ストック収入¹・ストック収入費用カバー率:年度推移



1. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)

- 各領域において、専門性を高めてナレッジを共有・蓄積し、ニーズに応える体制が強化されている



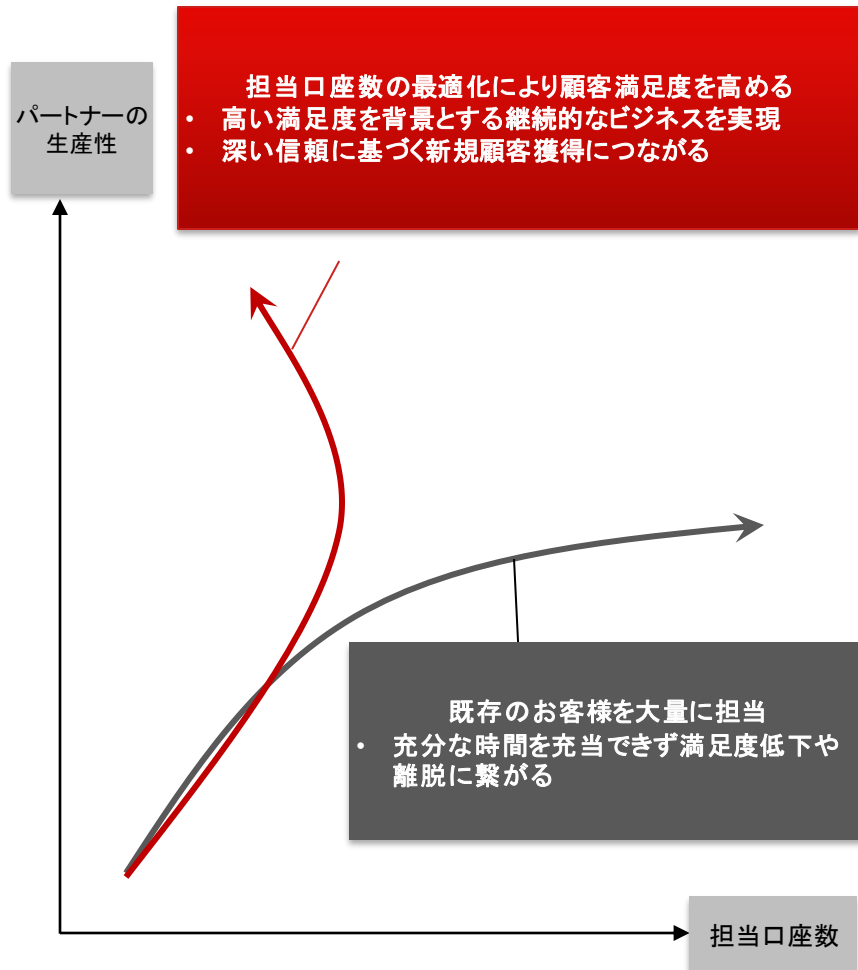
1. プライベート・ウェルス・マネジメント
2. ウェルス・マネジメント
3. デジタル・カスタマーサービス

4. ネット&コール

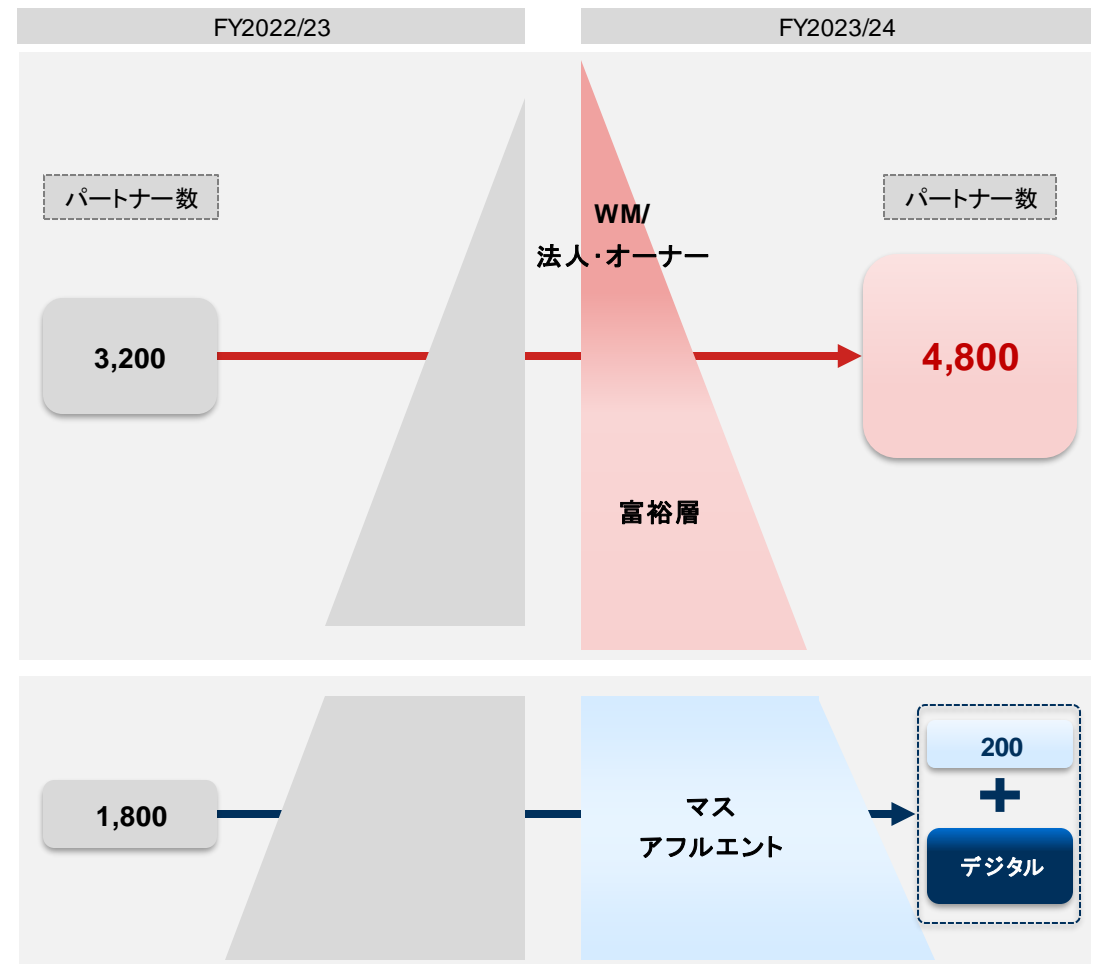
変革に必要だったこと(3) 担当顧客数の適正化

- ウェルス・マネジメントビジネスを志向するには、一人当たりの担当顧客数を適正化することが必要。結果、好調な業績にも直結

担当顧客数の考え方



顧客属性・当社カバー体制の変化

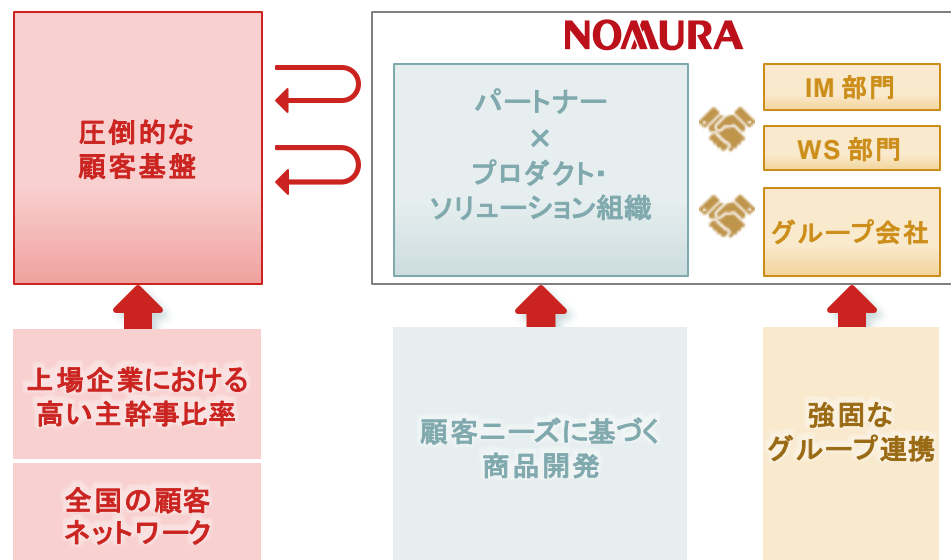


- 当社は、お客様の複雑な悩みにグループALLでお応えし続けてきて、野村独自の強みを作り上げてきた
- お客様の価値観・状況に合わせて最適な解決策を提供し続けるべく、必要なプロダクト・ソリューションを1つずつ拡充

プロダクト・ソリューションの進化・拡充に向けて

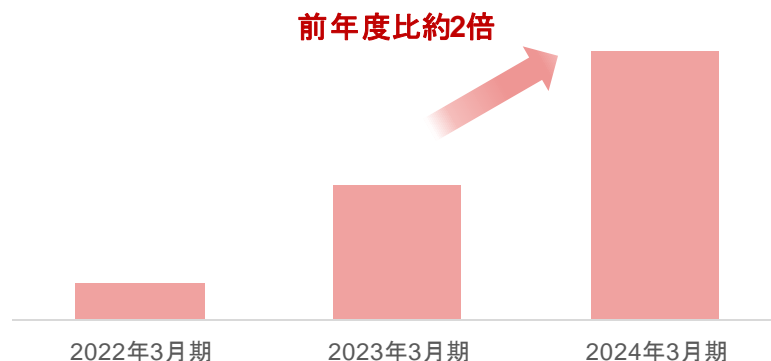


野村独自のサービス開発を可能とする組織体制



強みの発揮事例：プライベート・アセットの取扱額推移

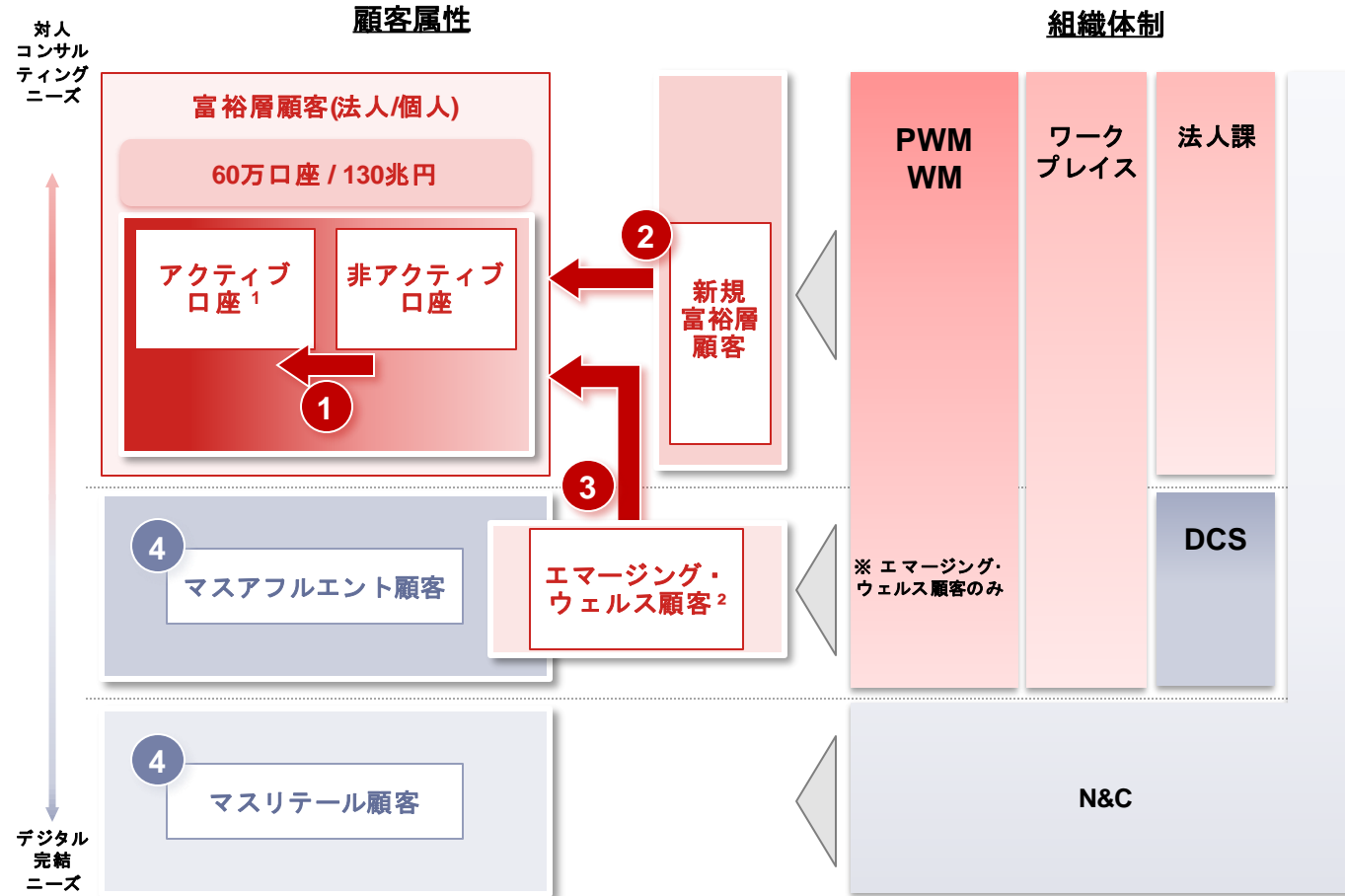
- ・ 当社のプレゼンスを武器に、昨年度はプライベート・アセットの取扱額が大きく拡大



ウェルス・マネジメントビジネスの拡大に向けて

- 富裕層マーケットが拡大する中、お客様のニーズを起点とした顧客カバー体制を整備

ウェルス・マネジメントビジネスの拡大に向けた顧客カバー体制



1. 富裕層顧客のうち、一定の預り資産と資産管理サービスによる収益をいただいている口座。
2. 将来的に富裕層化する可能性が高いと考えられる。

中長期戦略のポイント

- 1 富裕層顧客のアクティブ口座拡大**
 - お客様の複雑な悩みに対して、高度な資産管理サービスを提供する
- 2 富裕層マーケットでの新規顧客開拓**
 - 富裕層マーケットが拡大する中、新規の富裕層顧客を獲得
- 3 エマーシング・ウェルス顧客の獲得**
 - 持続的な顧客基盤の拡大に向けて、エマーシング・ウェルス顧客を獲得する「仕組み」を構築
- 4 デジタルを活用した持続的なサービス提供体制の確立**
 - デジタルとパートナーを組み合わせたサービス提供を実現する体制を構築

Disclaimer

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因として は、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト (<https://www.nomura.com/jp>)、EDINET (<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>) または 米国証券取引委員会 (SEC) ウェブサイト (<https://www.sec.gov>) に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/